

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和2年12月23日号

鳥栖市立麓小学校

校長 西川 哲也

TEL 0942-83-2013

<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



ホームページ

2学期が終わります



明日は、2学期の終業式。一年間で一番長いこのステージも、皆様のご支援ご協力のお陰で、無事に終わることが出来ますことに心より感謝申し上げます。コロナ禍の中ではありましたが、各学年・学級で、子供たちそれぞれがめあてをもって学習に取り組み、よく努力した2学期であったと思います。運動会・修学旅行・麓ふれあい祭りといった3大イベントも実施することができました。こういった行事を通して子供たちは、友達と協力することや家族、地域の方とふれあい感謝することも学ぶことができたのではないかと思います。

さて、冬休みは2週間と短いですが、一年の終わりと始まりを経験する大事な時期です。ご家庭では一年の終わりとして大掃除や片付けをされるころも多いと思いますが、お子様にも一緒にお手伝いをさせることで、自分も家族の一員だということを実感させるいい機会になるのではないのでしょうか。

また、大晦日に年越しそばを食べたり、お正月に家族で食事をしたりするときには、今年一年の中で頑張ったことを出し合ったり、新しい年の抱負を話し合ったりしながら、お子様をたくさん褒めてあげるのもいいかもしれませんね。



オンライン通信テスト(6年生)



12/16(水)、6年生全員が自分のタブレットパソコンを家に持ち帰って、オンライン授業の接続テストを行いました。

決められた時間になると、次々に自宅にいる子供たちの顔が先生のパソコンに映し出されました。呼名による出席確認や簡単なクイズに答える活動を行いました。先生と子供たちの会話のやり取りに時間的なズレも生じず、スムーズに進行することができていました。

入賞おめでとう

【「わたしたちのくらしと農業」作文コンクール】

NHK佐賀放送局局長賞

5年 塚本 煌史朗 さん

※ 塚本さんの作品は、本人の朗読(録音)で2月8日(月)にNBCラジオで放送される予定です。 11:40～、18:28～

NPOわかば様からのカレンダーの贈呈



幸津町にある「NPOわかば」様から今年も、来年のカレンダーを市内小中学校の全学級にいただきました。今年は、

鳥栖市在住の大石琢身さん作の風景画が使用されたカレンダーで、やわらかな色彩にとっても心が癒されます。3学期から各教室に掲示しますので、授業参観の際などにぜひご覧ください。

新型コロナからの教訓

2020年は、新型コロナの感染拡大に伴い、イベントの中止や全国一斉で学校が休校になるなど、大変な一年となりましたが、振り返ると、一連の騒ぎから様々な教訓が得られたと考えています。

まず、「科学的知識等を基に「正しく恐れること」が大切だということです。コロナウイルスは、はしかのウイルスのように空気感染はしないことが判っています。消毒、手洗い、換気、マスク着用などで感染を抑止できることは、皆さんすでにご承知のとおりですね。

次に、「冷静な行動」が大切であるということです。“トイレトペーパーがなくなる”というデマによる買い占めで、全国の店頭からトイレトペーパーがなくなるという社会現象が発生しました。デマがSNSであつという間に拡散するというネット社会の危険性も考えさせられた事件でした。

また、「差別や中傷への強い憤り」を感じたこともありました。国内では、クルーズ船に乗っていたということだけで悪人呼ばわりされたり、医療関係者というだけで子供が保育園の登園を断られたりする事案などが報道されました。海外では、アジア人だということだけで暴行されたという事件まで発生しました。

そして、「責任ある行動」が大切だということです。ウイルス陽性反応が出たため自宅待機を求められていた人が「ウイルスをばらまいてやる」と飲食店をはしごしたニュースに、怒りを覚えた人も多かったのではないのでしょうか。

明後日からは冬休みに入りますが、今現在、全国的に感染者減少の兆しが見えない状況にあります。私自身、新型コロナから得た教訓を基に、少しでも体調が悪い時には出かけないことやマスクの着用、咳エチケットなど、自分の健康だけでなく、周りの人のことも考えて、責任ある行動をとらなければいけないなど、新しい年を迎えるにあたって改めて思う今日この頃です。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。そして、3学期もよろしくお願いたします。

